

ヤングラーナース英語検定 (YLE): PB

約45分		約62分		約74分	
Pre A1 Starters スターターズ		A1 Movers ムーバース		A2 Flyers フライヤーズ	
リスニング 20分	1 ストーリーを聞いて説明と一致する絵の中の人物と名前を線でつなぐ 2 数字と綴りを聞く。数字と名前を書く 3 さまざまな種類の特定の情報を聞く。ボックスにチェックする 4 単語、色、前置詞を聞いて絵の中から正しいものを選んで色をぬって答える	リスニング 25分	1 ストーリーを聞いて説明と一致する絵の中の人物と名前を線でつなぐ 2 名前、綴り、その他の情報を聞いて単語や数字を記入する。 3 単語、名前、詳しい説明を聞いて絵と文章が合っているか答える (フライヤーズと同じ) 4 説明通りの絵を選び、ボックスにチェックして答える	リスニング 25分	1 ストーリーを聞いて説明と一致する絵の中の人物と名前を線でつなぐ 2 名前、綴り、その他の情報を聞いて単語や数字を記入する。 3 単語、名前、詳しい説明を聞いて絵と文章が合っているか答える 4 説明通りの絵を選び、ボックスにチェックして答える
リーディング & ライティング 20分	1 文章を読んで単語の意味がわかる文章の真偽についてチェック(XかYを記入する (単数形、複数形両方)) 2 絵と絵の説明文が合っているかどうかをyes, noで答える 3 与えられた文字を並び替えて絵が表す物の名前を答える 4 イラストつきの短文を読み、その空所に適語を補充して答える 5 絵が表す物語について一語の単語で答える	リーディング & ライティング 30分	1 単語とそれを説明する文章とを合わせる (6語から5語へ変更) 2 対話を読み、質問に対する正しい答えを文字に○を付けて選ぶ (旧版のパート3) 3 短いストーリーの空所に適語 (イラスト付)を選んで答え、そのストーリーにタイトルをつける (7題から6題へ変更-旧版のパート4) 4 短文の空所に選択肢から適語を選んで単語を書き写して答える (旧版のパート6) 5 文章を読み、1〜3語の適語を探して文書を作成させる 6 絵を見て文章を完成させ、質問に答えて絵について作文する	リーディング & ライティング 40分	1 単語とそれを説明する文章とを合わせる 2 対話を読み、質問に対する正しい答えを (A-Hから選んで)答える (旧版のパート3) 3 短いストーリーの空所に適語 (イラスト付)を選んで答え、そのストーリーにタイトルをつける (旧版のパート4) 4 短文の空所に選択肢から適語を選んで単語を書き写して答える (旧版のパート6) 5 文章を読み、1〜4語の適語を探して文書を作成させる (旧版のパート7) 6 短いテキストを読み空欄に適語を補充して完成させる (旧版のパート7) 7 3枚の絵をベースに短い文章を書く
スピーキング 3-5分	イントロ 受検者の名前を尋ねる 1 口頭で与えられる指示を理解しているか、絵の正しい部分を指し示す。指示に従い、絵カードを場面に描かれているイラストの上に置く 2 口頭の質問に答える。簡潔に答える。 "Tell me about ..."と質問をすることで (旧版のパート3) 3 口頭で与えられる指示を理解しているか、物に関する質問に短く答える (旧版のパート4) 4 自分自身について簡潔に答える (旧版のパート5)	スピーキング 5-7分	イントロ 受検者の名前と年齢を尋ねる 1 2枚の絵を見て簡潔に説明をする。4つの異なる点を見つける 2 ストーリーの始まりを理解して一連の絵をもとにストーリーを繋げる。それぞれ絵について順をおって説明する 3 4枚の絵から仲間はずれを1枚選んで理由を述べる。 4 自分自身に関する質問を理解して応答する。自分自身について答える	スピーキング 7-9分	イントロ 受検者の名前 (姓名) と年齢を尋ねる 1 口頭で与えられる指示を理解して、試験官が持っている絵と受検者の絵とで6つの異なる点を見つける 2 質問に簡潔に答える。情報を引き出すため質問をする。人物、状況について質疑応答する 3 ストーリーの始まりを理解して一連の絵をもとにストーリーを繋げる。それぞれの絵について順をおって説明する 4 自分自身に関する質問を理解して応答する。自分自身について答える

*2018年1月より新版に変更

(2018年1月より) 変更されたタスク

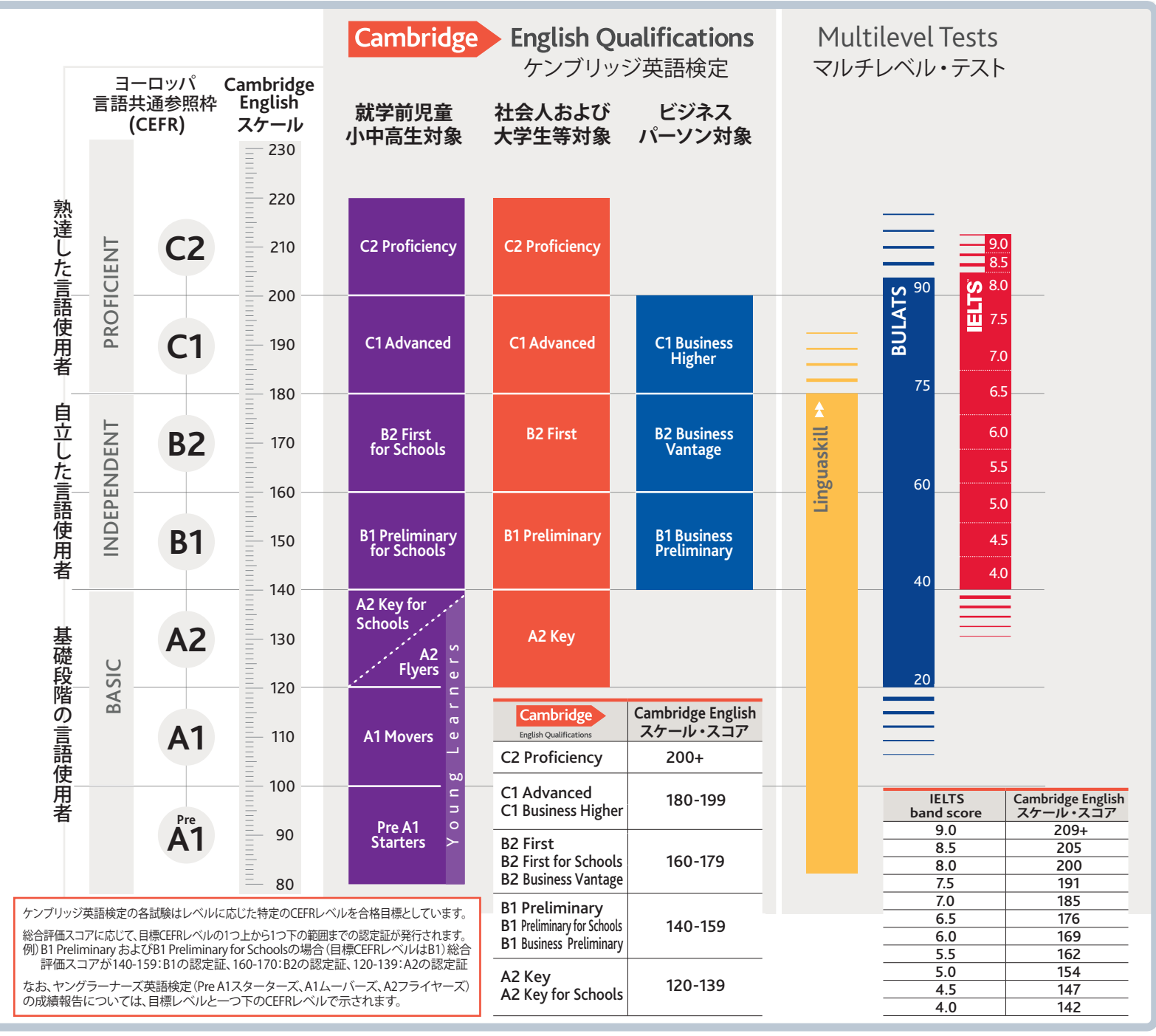
新規追加タスク

ケンブリッジ英語検定 A2 Key および A2 Key for Schools : PB,CB (計 約1時間50分)

問題用紙の種類	内容	測定されるスキル (出題意図)
リーディング & ライティング 1時間10分 配点: 全体の50%	「読む」書く」テストには9つのパートがあり、出題方法は次のとおりです。 ・精簡した説明文をマッチングさせる ・多肢選択式テスト ・最初の会話者への返答として適切な答えを選ぶ ・やや分量の多い会話文で適切な文章を選ぶ ・綴りの知識 ・空所補充問題 ・情報を転記するタスク ・問題の指示に従って書くタスク (25-35語程度)	・実生活に存在している標識や看板を理解する ・文章を理解して正しい単語を選ぶ ・文章を理解して正しい答えを選ぶ ・会話で正しい順番に並べる ・単語の正しい綴りがわかる ・正しい単語を選んで文章を完成させる ・欠けている単語を補充してメールや手紙を完成させる ・重要な情報を補充して文章を完成させる ・短いメモ、メールやはがきを書く
リスニング 約30分 配点: 全体の25%	「聞く」テストには5つのパートがあり、出題方法は次のとおりです。 ・短いテキストを聞いて多肢選択式で答える ・「人」と「もの」の名前 (名詞) のリストをマッチングさせる ・会話やインタビューの内容を多肢選択式で答える ・一人、もしくは二人で話している会話を聞いて解答用紙に欠けている単語を書き入れる	・短めの会話、長めの会話、話者一人の発話に含まれる重要な情報を聞き取る ・重要な情報を聞いて書きとめ、単語の綴りを正しく書く
スピーキング 約8-10分 受検者2名のペアで受ける 対面式テスト 配点: 全体の25%	「話す」テストには2つのパートがあります。最初のパートで、試験官は受検者に「お互いを理解する」ための質問をします。次のパートでは、ペアを組んでいるもう一人の受検者と質疑応答をします。	・自分に関する質問に答える ・カードを読み、欠けている情報を得るためにもう一人の受検者に質問する ・カードを読み、もう一人の受検者の質問に答える

PB: ペーパー版テスト CB: コンピューター版テスト ただし、CB版でもスピーキングテストは対面式 (試験官2名と受検者2名で原則行う形式)

Cambridge Englishスケールと各試験のスコア比較表



ケンブリッジ英語検定の各試験はレベルに応じた特定のCEFRレベルを合格目標としています。総合評価スコアに応じて、目標CEFRレベルの1つから1つ下の範囲までの認定証が発行されます。例) B1 PreliminaryおよびB1 Preliminary for Schoolsの場合 (目標CEFRレベルはB1) 総合評価スコアが140-159: B1の認定証、160-170: B2の認定証、120-139: A2の認定証。なお、ヤングラーナース英語検定 (Pre A1スターターズ、A1ムーバース、A2フライヤーズ) の成績報告については、目標レベルと一つ下のCEFRレベルで示されます。

ケンブリッジ英語検定 B1 Preliminary および B1 Preliminary for Schools : PB,CB (計 約2時間12分)

問題用紙の種類	内容	測定されるスキル (出題意図)
リーディング & ライティング 1時間30分 配点: 全体の50%	「読む」テストには5つのパートがあり、出題方法は次の通りです。 ・5つの短文に関する質問について、多肢選択式テスト ・短文と人に関する記述をマッチングさせる ・長めの文章に関する正誤問題に答える ・長文を読み、作者の考えなど、さまざまな事柄に関する理解度を測る多肢選択式テスト ・多肢選択式の空所補充型問題 (空所のあるテキストについて正しい選択肢を選んで空所をそれぞれ補充していく問題)	・要点を読み取る ・特定の情報を抽出して詳しい情報を読み取る ・作者の目的、態度、意見について理解する ・概略、推測、全体の意味を読み取る ・短文の語彙や文法を理解する
リスニング 約30分 配分: 全体の25%	「聞く」テストには3つのパートがあり、出題方法は次の通りです。 ・文変形問題 (もう一つの文章と同じ意味になるように文章を完成させる問題) ・いくつかの情報を伝えるための短いメッセージを書くこと (35-45語程度) ・さらに長い文章を書くこと ・物語が非公式の手紙のいずれか、2つの選択肢から1つ選んで約100語で書く	・B1レベルの文法構造を使いこなして理解する ・ある情報を含む短いメッセージを書く ・さらに長いテキスト (物語もしくは非公式の手紙) を1つ書く
スピーキング 約10-12分 受検者2名のペアで受ける 対面式テスト 配点: 全体の25%	「話す」テストには4つのパートがあります。出題方法は次のとおりです。 ・パート1では、試験官は受検者に「お互いを理解する」ための質問をする。 ・パート2では、ある状況についてもう一人の受検者と会話する。 ・パート3では、受検者は写真を見てさらに長い時間話することが求められる。 ・パート4では、パート3のテーマについて議論しながら、再びもう一人の受検者と意見を交わす。	・短文の主要な情報と、長い会話文とモノローグを聞き取る ・詳しい意味を聞いて話者の態度や意見を識別する ・受検者の現在の状況、過去の経験、そして将来の計画について議論する ・ある状況について、パートナーと話し合う ・写真について長い時間説明する ・好きなもの、嫌いなもの、お気に入りのこと、習慣について話をする

***: 中高校生対象のケンブリッジ英語検定である「A2 Key for Schools」、「B1 Preliminary for Schools」、「B2 First for Schools」は、成人学習者を対象とするケンブリッジ英語検定の「A2 Key」、「B1 Preliminary」、「B2 First」と同じ形式かつレベルのテストですが、中高生の経験および関心に対応しており、中高生の受検者に配慮したより適切な試験内容になっています。

ケンブリッジ英語検定 B2 First および B2 First for Schools : PB,CB (計 約3時間29分)

問題用紙の種類	内容	測定されるスキル (出題意図)
リーディング & 文法・語彙 1時間15分 配点: 全体の40%	パート1: 空所補充問題8問。選択肢から答えを選ぶ。 パート2: 穴埋め問題8問。 パート3: 空所補充問題8問。語幹が与えられ、必要に応じて変化させて答える。 パート4: 導入文と同じ意味になるように2-5語で文章を書き換える空所補充問題6問。 パート5: 読解問題6問。4つの選択肢から選んで答える。 パート6: 読解問題6問。文中から抽出された6文を元の位置に戻す作業。 余分な文章が1文追加され、7文与えられている。 パート7: 各設問に該当する長文あるいは複数の短文テキストの多重マッチング問題10問。 中高校生にとって興味深いトピックに関するさまざまなテキストが出題されている。	読解力と文法及び語彙の知識のうち、 - 豊富な文法と語彙力をうまく使えるか - テキストの詳細まで読み込んだり、意見や感情、テキストの構成や主題を理解する豊富な読解力を有しているか をテストする。 また、概要をつかむ速読力も求められる。
ライティング 1時間20分 配点: 全体の20%	パート1は必修問題。与えられたアイデアと自分のアイデアを用いて140-190語のエッセイを書く。 パート2では、記事、メール、手紙、エッセイ、書評、物語など、4つの選択肢から1つ選んで140-190語で書く。(課題図書含む)	内容、コミュニケーションの達成度 (適切に内容を伝えているか)、構成、ことば (語彙と文法) の評価基準に照らして採点。
リスニング 約40分 配点: 全体の20%	パート1: それぞれ独立した内容のモノローグあるいは会話文が8問出題される。 選択肢から正しい内容を選んで答える。 パート2: モノローグを聞いて適切な単語やフレーズを補充して10文完成させる。 パート3: 関連する5つの短いモノローグを聞いて、選択肢から正しい内容を選んで5つの問題に答える。不要な選択肢あり。 パート4: インタビュー、もしくは二人の会話文を聞いて選択肢から正しい内容を選んで7つの問題に答える。	実生活で使える「英語を聞く力」について測る。全テキストの概要、情報や意見、詳細情報をとらえる力をテストする。
スピーキング 14分 受検者2名のペアで受ける 対面式テスト 配点: 全体の20%	パート1: 試験官と各受検者間で簡単な自己紹介等のやりとりをする。 パート2: 試験官が示す2枚の写真を見て各受検者が自分の言葉で約1分間説明する。その後写真の内容について試験官がもう一人の受検者に質問をする。 パート3: もう一人の受検者とともに互いの意見を調整して意思決定するタスクを行う。 パート4: パート3のタスクに関連したトピックについて議論する。	発音、文法および語彙の駆使力、自分の意見をまとめる能力、いかにうまく議論に参加しているかなど、さまざまな側面についてテストする。

ケンブリッジ英語検定 C1 Advanced : PB,CB (計 約3時間55分)

問題用紙の種類	内容	測定されるスキル (出題意図)
リーディング & 文法・語彙 1時間30分 配点: 全体の40%	パート1-3: テキストに基づく出題で、多肢選択問題8問、穴埋め問題8問、語幹が与えられ適切に変化させて答える空所補充問題8問。 パート4: 導入文と同じ意味になるように3-6語で文章を書き換える空所補充問題6問。 パート5: 読解問題6問。4つの選択肢から選んで答える。 パート6: 4つの短文に関する多重マッチング問題。 パート7: 読解問題6問。文中から抽出された6つの段落を元の位置に戻す作業。 余分な段落が1つ追加され、7段落が選択肢として与えられている。 パート8: 各設問に該当する長文または複数の短文テキストの多重マッチング問題10問。 テキストは専門的なものではなく、フィクションあるいはノンフィクションの題材。本質的にアカデミックなものも多く出題される。	読解力と文法および語彙の基本的知識をテストする。 - 語、句、文、テキストレベルでの多様なことば - 主題、特定の情報、テキスト構成、示唆する内容、トーンについてとらえる読解力
ライティング 1時間30分 配点: 全体の20%	パート1は必修問題。問題文にある2つのポイントに基づいて220-260語のエッセイを書く。より重要なのはどのポイントか、そしてその主張を支える根拠について説明する。 パート2では、手紙、提案書、報告書、書評 (批評) 等、3つの選択肢から1つ選んで220-260語で書く。簡潔な文脈、トピック、目的、対象となる読者等がチェックされる。	内容、コミュニケーションの達成度 (適切に内容を伝えているか)、構成、ことば (語彙と文法) の評価基準に照らして採点。
リスニング 約40分 配点: 全体の20%	4つのパートに分かれており計30問。短い抽出文や長いモノローグ、インタビューもしくはディスカッション、特定のテーマに関するモノローグを聞いて答える。多肢選択問題、適切な単語やフレーズを補充して文章を完成させる問題や多重マッチング問題からなる。	実生活で使える「英語を聞く力」について広く測る。抽出文全体の概要、特定の情報、話者の意見や態度、感情等をとらえる力をテストする。
スピーキング 15分 受検者2名のペアで受ける 対面式テスト 配点: 全体の20%	パート1: 試験官と各受検者間で簡単な自己紹介等のやりとりをする。 パート2: 試験官が示す写真を見て受検者が自分の言葉で約1分間説明する。その後写真の内容について試験官がもう一人の受検者に質問をする。 パート3: 写真にまつわる情報や質問が記載されたカードが試験官より渡され、それをもとに受検者間でディスカッションを行う。 パート4: パート3のトピックに関連して、自分の意見の正当性を説明したり、前のパートよりさらに深い議論を行う。	文法・語彙力のほか、発音、自分の意見をまとめる能力、議論を始める力や持続させる力、交渉し結論に達する力等、多くの項目がテストされる。

ケンブリッジ英語検定 C2 Proficiency : PB,CB (計 約3時間56分)

問題用紙の種類	内容	測定されるスキル (出題意図)
リーディング & 文法・語彙 1時間30分 配点: 全体の40%	パート1-3: 文法・語彙問題で空所補充問題 (多肢選択式、記述式各8問)、語幹から適切に変化させて答える問題8問。 パート4: テキストに基づく問題ではなく、与えられた単語を変化させずに用いて、導入文と同じ意味になるように3-8語で文章を書き換える問題6問。 パート5-7: 長めの読解問題3問。多肢選択問題、空所補充 (段落)、多重マッチング問題。テキストは専門性の高い読者を対象としたものではなく、実生活で興味深いと思われる内容をピックに取り上げている。誰もが関心を持つ話題、学術的な傾向のもの、ビジネスに関連した内容など。	パート1-4で測っているのは、受検者の基本的な語彙と文法知識。 主にパート1は語彙、パート2は文法、パート3は文法と語彙の両方に影響を与えることについて問う。パラフレーズや文脈から意味をとらえる等のサブスキルが重要な問題。 かなり詳細まで読み込み読解スキルが求められる。例えば、議論が一貫性、結合を理解しているか、特定の情報を採ったり、スキム・リーディング (斜め読み) など。
ライティング 1時間30分 配点: 全体の20%	パート1は必修問題。2つの短文 (約100語) を読んで主要な意見をまとめて240-280語のエッセイを書く。 パート2は、記事、手紙、報告書、エッセイ、書評 (課題図書含む) の5つの選択肢から1つ選んで280-320語で書く。	あるトピックについて上手に意見をまとめて発展させることができるか、文章を通じて読み手に深い印象を与えられるか、言葉の用い方、言葉の目的をどれほど上手に達成しているかについてテストされる。
リスニング 40分 配点: 全体の20%	パート1: 3つの短い抽出文を聞き2問ずつ3つの選択肢から選ぶ。6問。 パート2: 3-4分間のモノローグを聞き適切な単語やフレーズを補充して9つの文章を完成させる。 パート3: 3-4分間にわたる会話を聞き4つの選択肢から選ぶ。6問。 パート4: モノローグ (各約35秒) を聞いて多重マッチング問題10問に答える。 (ここで扱うことばは) ビジネス・シーンや大学で使うものであったり、選り歩いていて連通する種類のものでもあってもよいなど、多岐に渡っている。	実生活で使える「英語を聞く力」について広く測る。抽出文全体の概要、特定のトピックに関する詳細情報、話者の意見をとらえる力をテストする。
スピーキング 16分 受検者2名のペアで受ける 対面式テスト 配点: 全体の20%	パート1: 試験官と各受検者間で簡単な自己紹介等のやりとりをする。 パート2: もう一人の受検者とともに試験官が示す写真に関するタスクに取組む。 パート3: 写真にまつわる情報や質問が記載されたカードが試験官より渡され、受検者はそれぞれ自分の考えを述べる。その後、その実生活に関連したテーマについて、試験官、受検者の3者間でディスカッションを行う。	発音、抑揚、発話のスピード、自分の意見をまとめる能力、交渉力、議論を持続させる力等、多くの項目がテストされる。